



一瓢同心

—ひょうたんを通して
人のつながり、愛郷心を大切に—

清水 久義さん (高田町)

撮影場所：慶雲館

春の訪れを告げる「長浜盆梅展」の会場で、今年初めて「長浜ひょうたん展」を同時開催しています。ひょうたんの前面に彫を施した作品や、蒔絵風の作品、高さ2mにもおよぶ大作など約125点を展示しています。

これら素晴らしい作品すべてを制作したのは、高田町在住の清水久義さん。清水さんは、ひょうたんと関わって50年以上、展示会では数多くの賞を受賞し、昨年6月の「第39回全日本愛瓢会総会」では、最高賞の名誉総裁秋篠宮賞を獲得し、名実ともに日本一のひょうたん作り名人となりました。

きっかけは、家業である酒販業を営んでいることから、長浜にゆかりある

ひょうたんで酒器を作ってみようと思ったこと。それ以来、独学でひょうたん作りに励みました。

名人清水さんの腕の見せ所は、その工芸技法にあります。貝殻を表面に新漆塗りを施しながら閉じ込め、研ぎ出して輝かせたり、表面に新漆で文様を描き、金箔などを蒔(ま)いて加飾するなど、全国で初めてひょうたんの加工に螺鈿(らでん)や蒔絵の技法を生かしたと言います。「見様見まねでやったもので、本職の人に見せるには恥ずかしいです」と遠慮がちですが、黒光りのひょうたんからキラキラ光輝く虹色の装飾の美しさには思わず目を見張ります。

「名誉総裁秋篠宮賞を受賞できたこと、秋篠宮殿下と2人で金箔貼り加工できたことはまさに『ひょうたんから駒』と、好きな言葉を用いて喜びを表現しましたが、これらは、清水さんのひょうたんにかける熱い情熱と努力による賜物で、当然の結果ともいえるでしょう。

「長浜のまちの礎を築いた豊臣秀吉公の馬印は千成びょうたん。長浜はひょうたんと強い関わりがあるので、ひょうたんへの愛着をずっと持ってほしいですね」と作品の出来栄えに目を細めながら願いました。

長浜ひょうたん展は3月10日(火)まで。慶雲館新館2階で開催中。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。
笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。
掲載を希望する人は市民広報室(☎65-6504)まで申込みください。



おっとりなお兄ちゃんが好きで、いつも付いてまわるあさひくん。これからも2人仲良く、優しい心を持った子に育ててほしいです。

小川 綾太ちゃん (平成23年9月生まれ) 右
朝輝ちゃん (平成26年1月生まれ) 左
(常喜町)

脇阪 俊希ちゃん (平成26年1月生まれ)
(南呉服町)



俊希♡ 1歳の誕生日おめでとう!
毎日たくさんのお幸せをありがとう。これからますます大きくなってね! 大好き♡♡

まちの人口	平成27年1月1日現在	人口 121,818人	男 59,530人	女 62,288人	世帯数 44,498世帯
	平成26年12月中の異動	転入 188人	転出 224人	出生 75人	死亡 91人 婚姻 43件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市のホームページでもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報室まで。